

令和元年度 総会報告

環境アセスメント士会・令和元年度通常総会を、令和元年6月14日（金）にJEAS会議室で開催いたしました。平成30年度の事業報告に続いて、同年度決算・令和元年度の事業計画・予算が無事承認されました。



席上、工藤会長より、「お陰様で当会の活動は8年目をむかえました。設立5周年の折には、東京オリンピック・パラリンピックに関する講演会と海上よりオリパラ会場計画地を視察するクルーズを実施し、多くの方に参加していただきました。昨年度は事務局業務の分担見直しなど、主に会の運営改善を行いました。今年度は今後の活動の方向性検討やイベント企画などを新たな体制で進めてまいりますので、引き続き皆様のご協力をお願いします。」との挨拶がありました。

令和元年度 第1回勉強会のご報告

総会終了後、東京工業大学大学院環境・社会理工学院錦澤准教授をお招きして、ご講演いただきました。

演題：「環境影響評価をめぐる最近の動向 ～風力発電、フォローアップ、合意形成の問題を中心に～」

日時：令和元年6月14日（金）19～20時

場所：JEAS会議室



東京工業大学大学院 准教授 錦澤滋雄先生のご紹介



環境アセスメント制度のあり方、特に風力、太陽光、バイオマス、地熱発電などの再生可能エネルギーの環境影響や社会的受容性、市民参加や合意形成の問題などを対象に研究を進めている。JICA 環境社会配慮助言委員会の委員をはじめ、環境アセスメントにかかる環境省検討会の委員や地方自治体の環境審議会の委員等を務めている。

講習会参加者からの感想

講習会では、①太陽光発電と自主アセス、②環境影響評価法のフォローアップ、③風力発電所の環境影響の動向、と盛りだくさんの内容を取り上げていただいた。

太陽光発電と自主アセスについては、住宅を含む太陽光発電の5割程度が小規模でアセス対象とならないこと、小規模火力発電所ではアセス逃れの実態も見受けられたことから、太陽光発電の自主アセスの取り組みが重要であることを指摘いただいた。現在、事業者が取り組みやすいガイドラインの検討が環境省で行われているとのことであった。

令和元年度 第2回勉強会のご報告

経済産業省環境審査顧問会の委員等を務めておられる（一財）小林理学研究所理事長 山本貢平氏をお招きして、ご講演いただきました。

演題：「騒音の基礎と最近のアセス手法」

日時：令和元年 11 月 27 日（水） 18 時 30 分～
19 時 30 分

場所：JEAS会議室



講習会参加者からの感想

講演会では、dB や環境基準の設定の考え方などの騒音の基礎的な内容から、風力発電事業における予測手法の留意点などといった応用的な内容を分かりやすく説明いただいた。

「騒音という判断は人間の主観に依存している。騒音という音は存在しないが、どういう音が騒音になりやすいかは考えられる。①大きすぎる音、②会話やテレビなどの「聴取」を妨害する音、③睡眠を妨害する音、この3つが重要で、環境基準を決める一つとなっている。」というご説明は、新入社員のころに参考書等で覚えた内容がよみがえるとともに、基礎的な内容を振り返ることも必要であると感じた。

環境アセスメント士会の情報について

定期的なお知らせは会員メールや環境アセスメント士会 公式ウェブサイトにて随時公開しています。意見交換や情報交換は Facebook で行っています。ご活用ください。

環境アセスメント士会 公式ウェブサイト

<https://jeas.org/society/>



<https://www.facebook.com/env.assessors/>

環境アセスメント士会への入会について

会員資格は、環境アセスメント士の方(正会員)、本会の活動を賛助する個人・環境アセスメント士を志す方(賛助会員)です。年会費は、2,000 円です。随時皆さまのご入会を募集しております。詳しくは、上記ウェブサイトをご覧ください。

年会費の振込先：みずほ銀行 麹町（こうじまち）支店（021）
（普通）1464348 口座名義 カンキョウアセスメントシカイ

あとがき

上記の JEAS 内にある公式ウェブサイトでは、環境アセスメント士の名簿を掲載しています。修正等がある方は、右記のアドレスに連絡を下さい。
今後も会員内外に様々な機会と情報を提供して行きたいと思っております。みなさまのご参画をお待ちしております。
環境アセスメント士会 広報グループ

連絡先

環境アセスメント士会
〒102-0092 東京都千代田区隼町 2 番 13 号
US 半蔵門ビル 7F
TEL 03-6268-9494 FAX 03-3230-3876
E-mail: pea@jeas.org